



2020年5月22日

各 位

会 社 名：株式会社ベネッセホールディングス
代表者名：代表取締役社長 安達 保
(コード番号:9783 東証第一部)
問合せ先：経営管理本部長 増本 勝彦
(TEL:042-357-3656)

のれん等の減損損失(連結決算)及び連結子会社株式の減損処理 による特別損失(個別決算)の計上に関するお知らせ

当社は、2020年3月期(2019年4月1日～2020年3月31日)において、のれん等の減損損失(連結決算)及び当社が保有する連結子会社株式の減損処理による特別損失(個別決算)を計上することとなりましたので、お知らせいたします。

記

1. のれん等の減損損失(連結決算)

当社の連結子会社である Berlitz(ベルリッツ) Corporation について、新型コロナウイルス感染症拡大等の外部環境の悪化を踏まえ、今後の計画を見直した結果、当初想定されていた収益が見込めなくなったため、2020年3月期の連結決算において、同社に係るのれんの減損損失として15億8千5百万円を特別損失に計上する見込みとなりました。また、当社の連結子会社である㈱ベネッセビースタジオについて、上記と同様の理由により、2020年3月期の連結決算において、同社に係る有形固定資産及びのれん等の減損損失として15億6千万円を特別損失に計上する見込みとなりました。

2. 連結子会社株式の減損処理による特別損失(個別決算)

上記の背景を踏まえ、当社が保有する連結子会社 Berlitz Corporation の株式について評価を行った結果、実質価額が著しく下落していることから、2020年3月期の個別決算において減損処理を実施し、関係会社株式評価損として213億4千9百万円を特別損失に計上する見込みとなりました。また、当社が保有する連結子会社㈱ベネッセビースタジオの株式について、上記と同様の理由により、2020年3月期の個別決算において減損処理を実施し、関係会社株式評価損として20億3百万円を特別損失に計上する見込みとなりました。なお、関係会社株式評価損は連結決算において消去されるため、連結損益計算書における影響はありません。

3. 業績に与える影響

2020年3月期の業績に与える影響につきましては、本日公表いたしました「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」に記載のとおりであります。

以 上